

## 2020年6月1日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- 不法の者、内面からの敵について -

<https://youtu.be/8i5p-PsoqQY>

シャローム、皆さん、アミール・ツアルファティです。皆さんとご一緒できることに、とてもワクワクしています。イスラエルのガリラヤのオフィスからの放送です。今日は話が盛りだくさんです。ということで、まずは本日公開されたばかりの情報から始めましょう。というか、この48時間です。

4月にイスラエルのインフラが、イランからのサイバー攻撃を受けました。ちなみに、それは非常に大胆で、非常に洗練されたサイバー攻撃でした。イランのハッカーが、イスラエルの飲料水道水の塩素のレベルを高めようとしていました。イスラエルはもちろん、世界で最も優れたサイバーセキュリティを持っていて、実際、世界にサイバーセキュリティを教えています。イスラエルにはトップ企業がいくつかあって、世界中にそれを輸出しています。しかし、我々はイランを代表するハイレベルの攻撃を見つけ、すでにご報告済みかと思いますが、このイランの企みへの報復として、イスラエルは、イラン最大の港の1つのコンピュータにハッキングしました。私たちはそこに非常に多くのダメージを与えたので、彼らは、今日もまだ、それを修正しようとしています。しかし、それはもちろんサイバー戦争の上でのことで、念のために言っておきますが、戦争は目に見えるものだけではありません。銃、石や岩、物に火をつけるだけではなく、F-16（戦闘機）に限らず、サイバー攻撃もありえます。実際、どんどんサイバー領域へと移っていて、将来、こういった事がたくさん起こります。イランは、軍事装備がめっぽう弱いですが、サイバー攻撃になると、かなり洗練されているようです。イスラエルはこれを妨害することに成功し、この全てを阻止しました。実際、私たちは、もっと効果的な方法で反撃しました。その方法を知っていますから。しかし、間違いなく、今までとは根本的に異なる状況です。それだけはお伝えしておきます。

皆さん、レバノンでは、国民はもはやヒズボラを恐れていません。昨日は、ベイルートの法務省の目の前でデモがあり、今回初めて、非常に明確に、政府に呼びかけられました。ヒズボラの武装解除と、そしてこれ、聞いてください、あらゆるイランの存在をレバノンから追い出せ、と。これはイスラエルが言っているのではありません。これは、レバノン人たち自身で、ついに根性のある人たちが、路上に出て来たのです。今のヒズボラがどれだけ弱いかが分かるでしょう。国民がテレビカメラの前で公然とそう言うことを、恐れていないのです。彼らは、「国家の中の国家」を取り除きたいと思っています。それはヒズボラが、レバノン南部とレバノン東部に作ったものです。

またシリアでも、念のために言っておくと、昨夜3回の攻撃がありました。高い可能性で、イスラエルのF-35（ステルス戦闘機）による、イランの民兵標的に対してです。対空バッテリーを搭載した車両が3台撃破され、今は言えませんが、それ以上の破壊が行われました。しかし、一つだけ言えることは、ヒズボラは今、アル・ブカマル市の隣のシリア・イラク国境のイマーム・アリ基地で采配をふるっています。彼らはすべてを封鎖して、今、再び地下トンネルや地下壕を掘り、イスラエルの攻撃で破壊されたものを置いています。さて、それで足りなければ、シリアの政権やシリア社会の中で、多くの事が起こっています。ほら、シリアは国であり、まだ大統領がいて、まだ民間人がいて、まだ企業があり、まだそこに何百万人もの人が住んでいます。ここ数週間、そこでは大きなドラマが繰り広げられています。アサド家とマクルーク家、2つの家族の間で、まるでテレビドラマのようです。マクルーク家は、アサドの親戚で、アサドの父が、マクルーク家の娘と結婚しています。しかし、私が言いたいのは、バシヤール・アル・アサドの父親が、長い間、マクルーク家を、非常に影響力のある、非常に裕福な一族に仕立て上げて、彼らは億万長者、ヨーロッパやその他、様々な所に何百万ドルもの株を持っています。それから、彼らはここ数年間、バシヤール・アル・アサドに資金を提供していました。それが、何かが、うまくいかなかったようで、どうやらバシヤール・アル・

アサドは、現金を必要としているようです。彼に現金が必要な理由は、我々には分かりません。イランが現金を必要としているのか、もしくは、ロシアが現金を必要としているのか。しかし彼は今、マクルーク家に、彼らが支払って来なかった税金の2億ドルを要求しています。我々は、それらの一族の様子を見ていますが、彼らは、アルファやファルコンなどのような警備会社や、警備サービス会社を所有していて、基本的に彼らは、アサドにその借金の赦免、恩赦を懇願してるのです。ただ私に言えるのは、現在、シリアの人口は分断されています。大統領に味方する者と、裕福な一族に味方する者にと。そのドラマが、今日のシリアの通りで今、繰り広げられています。ロシアは数日前に、シリアに何機かの新しいミグ29（戦闘機）を持ち込みました。シリアに持ち込んで、それがシリアに留まるわけではないことは分かっています。先週、彼らは実際に、シリアのフメイミム基地からリビアまで、それらを飛ばしました。そこで彼らは、国連後援政府と戦う、ハフタル将軍を助けていて、それが今は、トルコのスルタン、エルドアンによっても、何らかの形で支援されています。という事でリビア、シリア、ロシア、トルコで、さらには舞台裏でさえ、多くのことが起こっているのを見ています。

また、非常に興味深いものをお見せしましょう。今の時点で驚かないでください。イスラエルはエルサレムの主権者ですが、神殿の丘は、イスラエルの宗教的管轄には入っていません。つまり、ラビは神殿の丘を管理していないのです。支配しているのは、イスラム教徒のワクフです。現在、神殿の丘を管理しているイスラム教のワクフは、そこの宗教的権力者で、ほとんどがヨルダン人と地元のアラブ・パレスチナ人で構成されています。信じられないかもしれませんが、ここ数年、さらにここ数ヶ月間は特に、トルコが、ますます東エルサレムに押し入り、神殿の丘と、そのワクフの問題に踏み込んでいます。そこでサウジアラビアは、「もうたくさんだ」と判断しました。我々は、スンニ派イスラム界にとって第三の聖地でのトルコの干渉を望まない！したがって、アメリカによる仲介とイスラエルの黙認によって、これ、よく聞いてください。サウジは、神殿の丘を運営しているムスリム・ワクフに3人の代表者を求めています。さて、最初はヨルダン人は、そのことを聞きたくありませんでした。皆さん、理解してください。ヨルダンとサウジアラビアは、アラブ人でイスラム教徒かも知れませんが、ヨルダンは、サウジアラビアの王家がハシミテ家に暴力を振るった結果です。だから、ヨルダンが生まれたのは、ハシミテ家がサウジアラビアから追い出されたからです。だからヨルダン人は、サウジアラビアが神殿の丘の宗教的権威として支配に加わりたという話を聞いて、気に入りません。しかし、ここ数日の間に、ヨルダン人は反対を解いたようで、そして彼らはもはや、それに対して反対していません。私が思うに、それはヨルダン人が間違った敵に吠えていると理解した事に大いに関係しています。トルコは彼らを助けず、トルコは彼らの救世主にはなりません。サウジは、はるかに多くのお金を彼らに与えることができ、サウジは、はるかに多くの恩恵を彼らに与えることができます。だから、私たちは、その全部を見ているのです。しかし忘れてはいけません。欧米で、度々誤解されていますが、イスラム教徒だからといって全員が一致団結しているわけではありません。スンニ派とシーア派があることはご存じでしょう。しかし、スンニ派の中でも、スンニ派だからといって全員が一致しているわけではなく、水面下で多くの要素が衝突しています。その一つが、トルコ人はアラブ人ではないという事実です。サウジアラビア人とヨルダン人はアラブ人で、どちらも元々はアラビア出身です。だからアラブ人は、自分たちがスンニ派のイスラム教の後援者だと思っていて、スンニ派であるトルコには、それを与えるつもりはないのです。良いですか、ペルシャ人、イランも、トルコ人もアラブ人ではありません。理解していますか？それが理由の一つです。なぜアラブ人は、シーア派のイスラム教にもトルコのスルタン国の再興にも、両方に反対しているのでしょうか？ですから、とても興味深いことに、イスラム世界の中でアラブとトルコ、アラブとペルシャの対立を見ています。ともかく、この出来事も、お伝えしたいと思いました。さらにお伝えしたいのは、ヒズボラの行動、レバノンの行動についてお話して、イスラエルで起こっている事も、お話ししました。

イスラエルは前進しています。私たちは1ヶ月以内、7月1日までに主権を実施し、基本的には、ヨルダン渓谷を併合すると考えています。さて、聞いてください。皆が止めるよう警告しています。エルサレムを首都と宣言するなど警告したのと同じように、そして、国権を宣言するなど警告したように、彼ら全員が恐怖、恐怖の種を蒔き続けています。言わせてもらいますが、私の立場は常に、「何であれ、可能なものは今つかめ。明日にはないかもしれない。」土曜日にズームミーティングをした時に、南アフリカの人に言ったので

すが、毎週土曜日に、各国のフォロワーの皆さんとズームミーティングをしています。次の土曜日はイギリスです。ともかく、そこで併合についての見解を聞かれて、私は言いました。「ほら、皆さん。1917年以来、私たちは大きなことを約束され、それが最終的に我々に与えられるものは、どんどん、どんどん小さくなっている。」しかも、私たちはいつも「はい」と言います。我々は、1947年の分割計画に「はい」と言いました。エルサレムは、我々の手に渡っていなかったのにもかかわらず。私たちは「はい」と言って、国家を宣言しました。こんにちのイスラエルが所有している多くのものが、我々の手中にはなかったときに。私たちは、ほとんどすべての平和イニシアチブに「はい」と言い続けてきたのです。理由は一つ。私たちが「はい」と言うたびに、我々は何かをつかみ、また、相手が「いいえ」と言うのを、私たちは知っていますから。パレスチナ人が「はい」と言って我々が同じ事に同意したのは、オスロ協定の時だけです。あれは、過去30年の間で、私たちに起こり得た最も恐ろしいことでした。だから、皆さんにお伝えします。パレスチナ人が「いいえ」と言っていたら、迷わず「はい」と言えればいい。少なくとも、以前は持っていなかったものをつかみますから。我々が土地を売っているとは思いません。パレスチナ国家は、絶対にないと思いません。パレスチナ人に許可を与えることは絶対にないと思いません。私が思うに、ホワイトハウスに友好的な大統領がいて、2000年を経て、ヨルダン渓谷を併合するチャンスがあるなら、すれば良い。パレスチナ人はそれに慣れるでしょう。彼らがエルサレムのアメリカ大使館に慣れたように。彼らはその全てに慣れるでしょう。さて、彼らは喜ぶか？いいえ、彼らは満足しません。しかし彼らは、二国も計画していません。皆さんが理解しなければならないのは、今日、ラジオで聞きましたが、アラブ系のイスラエルの国会議員が、次のようなことを言っていました。「我々は二国解決策を求めている。ユダヤ人のいないパレスチナ国家と、もう一つは、ユダヤ人国家“ではなく”アラブ人、ユダヤ人、全国民が混在する国家を。」つまりそれは、「アラブ国家とユダヤ国家」ではありません。それは、「ユダヤ人抜きのアラブ国と、ユダヤ人とアラブ人がいる国」です。彼らはユダヤ人国家を望んでいません。“二つの民族の二つの国”の話をしていても、我々は、同じことを言っていないのです。だから皆さん、理解しなければなりません。彼らが何かを与えたなら、つかむのです。しかも、大統領がそれにOKなら、手遅れになる前につかみなさい、と。11月の選挙までに、出来る限り早くやらなければいけません。11月の選挙がトランプ大統領の大惨事になると思っているわけではありませんが、ただ、私が言いたいのは、どうなるか分かりませんから。今アメリカで起きていることは全て、非常に憂慮すべきことです。それが皆さん、今回のアップデートの本題で、つまり不法、内側からの敵です。

皆さんにお見せしましょう、1月23日の引用です。これは、ちょうどコロナウイルスが中国を襲い、それが、さらに広がるかとしていた頃です。ところで、もはやコロナウイルスの話をする人がなくなったのにお気づきですか？マスクが、“ソーシャルディスタンス”を置かない人を批判していないことにお気づきですか？そしてお気づきですか？今、我々がアメリカのテレビで見ている、マスクをしている人たちは皆、コロナとは何の関係もない事を？彼らは、これら悪党の正体を隠す為にしているのです。ジョージ・ソロスが、1月23日にCNBCに語ったことにお見せしましょう。ご覧ください、彼は言いました。「トランプの問題は、選挙まで、まだ10ヶ月ある事で、そして革命的な状況では、それは一生のことだ。」繰り返します、「…革命的な状況では、それは一生だ。」皆さん、言っておきますが、私たちが今見ているものは何であれ、それは、何もかも慎重に計画されたもので、ソロスと彼の親友たちが資金を提供しています。全ての大都市に、レンガの山が彼らを待ち受けています。工事中でもなければ、建設現場もない場所に、ただ、レンガが至る所に積まれていて、この人たちが、そういった場所にバスで運ばれます。この人たちは給料を受け取り、採用されているのです。そして、誰もそれについて一言も語っておらず、驚きます。さて、もう一つお伝えしたいのは、私たちが不法の働きを見ていて、私たちが今見ている、この不法の働きはご存じのように、目新しいものではありません。それは間違いなく、新しいものではありません。皆さんに思い出していただきたいのは、私たちが話しているのは、ポリティカル・コレクトネス（政治的な正しさ）の産物であり、基本的に、かつては有害であったものが、今では致命的なものになったということです。誰でも、社会に利害関係のない者が、その社会を破壊したいのです。皆さん、理解してください。誰でも、社会的地位の一番下にいる人は、その人が、この社会の一部であることに興味がありませんから。ポリティカル・コレクトネスの考え方では、「その者は、力づくで一番上に行かなければならない」と、実際に言っているのです。

「今、社会的地位に入っている人は、皆、優遇されていて、どこでも破壊し、燃やし、妨害し、暴動を起

こせば、あなたも自分の居場所を確保できる！」それは正当化されていて、OKなのです。お伝えしますが、つい先ほど、有名人たちがお金を寄付したと聞きました。何のために？ミネアポリスで逮捕された、アンティファのメンバーを保釈するためです。凶悪犯によって破壊された黒人のビジネスを助けるのではなく、逮捕された凶悪犯を保釈するためですよ。皆さん、私たちが見ているものは…。ところで、それはどこにでもあります。この認識を生み出す言葉の全てが、すでにソ連で生まれていたのです。皆さん、言うておきますが、ソ連は国民に嘘を注ぎ続けていたのです。彼らは、かつて新聞を何と読んでいたと思いますか？「プラウダ Правда」です。プラウダって何か知っていますか？「真実」です。「我々は、あなた方に嘘を伝え、それを真実だと教えよう。」それが「真実」と呼ばれるようになり、それが「真実」として提示されます。そして、それはいつの間にか崩壊します。しかし、その時には手遅れです。今見ているのは、アメリカのマスコミが…、それはアメリカだけでなく、今や、ヨーロッパでも起きています。私たちは嘘がどのように宣伝され、真実として提示される様子を見えています。もちろん、それらの人々は毎回同じ罠にはまり、何も変わりません。では、はっきりさせておきましょう。私はテレビで見た、ジョージ・フロイドに起きたことを支持していません。はっきりさせておきますが、私はそれは非常に奇妙でおかしいと思っています。警官が、ただ誰かの首に膝をついて、何分もそれがカメラに映っていて、全貌が公開されている。そこで何が起こったのか私には分かりませんが、このプロセスには、多くの疑問や怪しい点がありますが、我々全員が同意できる一つ確かなことは、ジョージ・フロイドの死は不必要でした。あのような事は、決してあってはなりません。しかし、その死と、今見ているものとの間には、明らかに全く関連がありません。何もありません。私たちが見ているのは、よく組織化され、よく計画され、十分な資金援助を得た者たちの組織それが、革命の空気を作り出して、アメリカ経済を崩壊させようとしている様子です。

ところで、皆さんに、はっきり言うておきたいのですが、アメリカ経済は、COVID-19の後、実際には、信じられないかもしれませんが、それほど悪くはありませんでした。では、私が何を言っているのか、ご説明しましょう。つまり、4月の平均収入が10.5%上がったのです。収入が上がった。実際、個人的に、私に教えてくれた人がいます。その人は牧師で、彼が私に言ったのです。「アミール。私の教会の何人かは、コロナウイルス禍中の今の方がそれ以前の働いていた時よりも稼いでいるんだよ」それは本当です。連邦政府は、失業者に週600ドルを追加しました。そして、もちろん消費が13.6%減少しました。これは1.9兆ドル以上の後退を意味します。すべてが閉鎖されていて、誰も何も買えませんでしたから。しかし、お伝えしますと、事実、基本的に、市場が上手くいき、リバウンドした事は、アメリカの株式市場が、ダウ株価の2万5千ポイントに戻った事がそれを示しています。ほら、今の状況を見てください。コロナウイルス、あの、発明されたウイルスは、アメリカを崩壊させませんでした。「じゃあ、プランBに移ろう。」そして、プランBはもちろん、捏造された偽の革命です。何が悲しいかという、そういう動画をたくさん見ているのですが、こういう悪党のほとんどは、実際、黒い服を着た白人で、彼らは、金持ちのボスの手先です。それが、地元の黒人の若者を勧誘して、金と引き換えに動かしているのです。有名人たちが、彼らを煽っているのを目にします。ソーシャルメディアでさえ、今日、彼らのアイコンは、すべて真っ黒でした。まるで、みんなが「これが正しいことだ！行って、暴動を起こせ！」と言っているようです。しかし、抗議者の大多数は、これにのめり込みません。彼らが、これにのめり込んでない事は分かります。彼らは、自分たちの見ているものに、本当にゾツとしているのが分かります。言うておきますが、まさに、シリアの内戦が始まった時と同じです。それは政府の残虐行為に対する民衆の反乱として始まり、その後、ISISが乗っ取り、全テロリストが乗っ取り、基本的に全てが変わったのです。はっきりさせておきます。今、私たちが見ているのは、よく計画され、よく組織化され、そして、たっぷりと資金提供されているものです。これは重要なことです。皆さん、知っておいてください。さて、小さな中東の角度からの見方をお伝えしますと、まず、他にもなく



イランが、アメリカの黒人に対する扱いを批判しています。毎年、年間何千人もの人を虐殺している、あのイラン。クレーンで人を吊し、人々を斬首している国、イラン。そのイランが今、自慢げに…、実際、イラン人が発表したものをお見せしましょう。皆さん、これを見てください。これは、アメリカが炎上するのを、ソレイマニ将軍が見ている、彼は、まるで、こう言っているようです。「お前が私にあんな事をしたからだ。今、私がこの裏にいるのだ。」



これで足りないなら、イスラエルに敵対するアラブのプロパガンダとパレスチナのプロパガンダが、これを利用して見せて下さい。これを見て下さい。黒人に膝をついたアメリカの警官と、パレスチナ人に膝をついたイスラエルの兵士。彼らが何を言おうとしているのか、分かりますか？彼らは、これを対称的に、イスラエルがパレスチナ人を虐待し、アメリカの警察が黒人を虐待していると見せ、そして、彼らは…。ところで、これは筋書きですよ？



間違っははいけません。これはブラック・ライヴズ・マターの筋書きです。それは、非常に反ユダヤ主義的な組織です。今日の出来事をお見せします。私は見ていたのですが…。言葉遣いが汚くて申し訳ないですが、見てください。イヴ・バーロウという女性が、ツイッターに書きました。「朝起きると、暴動の間に、LAのシナゴグに、こんな落書きがされていた。『自由パレスチナとF\_\_\_イスラエル』また、デュア・リパ（英国のシンガーソングライター）が、彼女のインスタグラムで、反ユダヤ的な投稿を拡散している。

「ユダヤ人国家と共同体を、アメリカの黒人殺害に持ち込むとは何事?!」それから、このクリスチャンだと名乗る人の発言を見てください。「ブラック・ライヴズ・マター：ユダヤ系白人は歴史上最も多くの奴隷の所有者だった。彼らは実実上、アメリカで奴隷制を作り出した。」ユダヤ人が、アメリカに奴隷制度を作ったそうです。その後、彼らが言ったことを見てください。「だから、敬意と愛をもって、シナゴグは他の建物と同じように、何をやってもいい。」なかなか面白くないですか？これらの暴動でも、その角度からやって来ます。この暴動は、警察の残虐行為に苦しむ黒人によるものだと思うでしょう。皆、そう思いますが、違います。それとは何の関係もありません。それは全て、「マンハッタンの店のルイ・ヴィトンのバッグが欲しいから、だから、窓を壊してそれを盗ろう」「マンハッタンのアップル製品が全部欲しいから、押し入って持って行く。」「テレビも欲しいし、アクセサリーも欲しいし、靴も欲しい。」「すべては俺たちのもので、俺たちが取る。」基本的にはそういう事です。それが今、私たちが見ているものです。私たちは、略奪者が、彼らの最も得意とする事をするのを目撃していて、これは、かなり警戒すべき事です。皆さん、知っておいてください。

さて、また皆さんにお伝えしたいのは、イランだけでなく、中国も、現在起こっている事を、非常に喜んで見ます。北朝鮮、ロシアのテレビRTは、至る所で絶えず放送して、暴力を拡散しています。もちろん、ベネズエラは、そのすべてを熱狂的に、大喜びで報道しています。基本的に、悪の枢軸が、彼らが「アメリカの転落」と呼ぶものを見て、喜んで見ます。皆さんに言いたいことがあります。これらの国が、あなたの味方につく時、それは、あなたが悪の枢軸に属しているということです。つまり、あなたがやっていることには、何も良いことはないということです。勘違いしないでください。初日から、アンティファは、トランプを追い出したかったのです。間違っははいけません。これが、主な理由の一つでしょう。彼らは始めに…私たちは知っています…ディープステートとグローバリストの秘密結社は、トランプ大統領に対して、全てを試しました。ロシアとの共謀から始まって、もちろん失敗しました。その後、ウクライナとの共謀に移り、弾劾が始まり、失敗しました。そしてもちろん、コロナウイルスの話をしました。それも失敗しました。そして今、この全ての始まりは彼のせいだ、と言って非難するにはどうすれば良いか？実際、現実には、民主党、革新派です。見てください。革新的な民主党の市長や知事達、これらのことのほとんどは、彼らの監視下で起きていて、彼らは、彼らの場所を守るために必要なことを、していないのです。だからこそ、トランプ大統領は軍人を、ワシントンDCの知事に任命したばかりです。だから、今は国家警備隊がDCの通りに出て、そこに法と秩序を敷いているのです。良いですか、理解してください。全ては学会に帰結します。これらは短大に行き、大学に行った人たちで、…これはナチズムが台頭する前から始まっていたことです。それはフランクフルト学派、フランクフルト思想と呼ばれていました。ところで、その学派は全て、アメリカに輸入されたのです。非常に多くの教師や教授によって、アメリカの大学に輸入されました。つまりこれは、自分には自分のコードがあると信じている人の話で、他の誰も、その人が考えていることを言うことが許されません。だれも…。こんにちの学術界には、多元的な見解はありません。嘘は成長し続けています。だからこそ、学界は常にそれらの悪党達を理解し、常にテロリストと、その崇高な野望を理解するのです。彼らはいつもイランを理解し、彼らは常に、第三世界を理解します。驚くべきことに、ある時、アフマディネジャドが、…皆さん覚えていますか？当時のイラン大統領が、国連総会の舞台から、イスラエルを破壊すると

誓った時、彼はアメリカの大学に招かれ、君主として、アメリカの大学に受け入れられました。そして当然、彼はアメリカから苦しめられている恵まれないイスラム教徒の代表なので、彼の発言の一言一言に、大学のスタッフは皆、酔いしれて、そしてもちろん、ある教授が彼に尋ねました。「なぜあなたはイランの同性愛者や、同性に惹かれる人たちにそんなに残酷なのですか？」彼が何と答えたか知っていますか？彼は、「イランには同性愛者はいない」と言いました。そして皆に笑いが起こって、それで終わりです。この時点で、彼は彼らとは終わりました。なぜなら…性別やセックスの問題は、イスラム教やユダヤ教などに関係するものよりも、ずっと重要ですから。それからまた、皆さん理解してください。我々はまた、驚く事を見ていて、「ファーガソン効果」と呼ばれるものを生み出しています。

さて、ファーガソン効果とは何か？ファーガソンとは…、覚えていますか？ 2014年にマイケル・ブラウンがアメリカ・ミズーリ州のファーガソン市で白人警官に殺され、全米で暴動が起きました。当時のアメリカ合衆国大統領は、バラク・フセイン・オバマで、ちなみにバラク・フセイン・オバマは、彼らを「悪党」と呼びました。これが、トランプ大統領の言葉だと思ったら、バラク・フセイン・オバマは、彼の監視下にあったときに、彼らを悪党と呼んだのです。そして2014年の暴動の後に何が起こったかという、マイケル・ブラウンの殺害に続いて起きたのは、人々の、警察に対する不信感です。それが基本的に、アメリカの主要都市の犯罪率と殺人率の増加に繋がりました。自分の法執行機関を攻撃すればするほど、ファーガソン効果が生まれて、実際には自分が苦しむこととなります。見てください。警察の立ち入りを知事が許さない所はどこでも…。警察の立ち入りを許可しない所では、何が起きていると思いますか？暴力が蔓延まんえんしていて、全ての建物が焼き払われ、そして、すべての店が略奪されています。それが、法も秩序もない時です。反発を招く可能性がある状況では、警察はあまり激しく取締りをしません。そのような事をした結果ですよ。ですから理解してください。これら革新的な知事たちは、……説明しましょう… 例えば、マスコミの事は忘れてください。NBC、CNN、ニューヨーク・タイムズ、ワシントン・ポスト…。彼らはトランプに敵対するためには、何でもします。しかし、それらの都市の革新的な民主党の市長について言わせてもらおうと、はるか、シカゴにまで遡さかのぼります。ラーム・エマニュエルを覚えていますか？彼がオバマのオフィスを去った後、バラク・フセイン・オバマが、彼をシカゴの市長に任命したのです。私たちは皆知っている通り、彼らの戦う方法は、もちろん、言葉での攻撃です。シカゴであれが起こった後、暴力が増加し、また、別の殺人もありました。彼は、警察を調査する委員会を作りました。その委員会のトップに立っていたのは、誰だと思いますか？ロリ・ライトフットです。もちろん。彼女は今、シカゴ市長です。一つお伝えすると、彼らは警察を弱体化させ、警察はジレンマに陥っていました。もし警察が強引に暴力を止めれば？彼らは差別主義者で、残忍な者と見なされます。そして、もし警察が正しく仕事をしなければ？そうすると、彼らは価値のないものと見なされて、彼らから、全ての予算が取り上げられます。ですから、両方のケースを見ているのです。警察は弱く、法の執行機関を弱体化する度、基本的には、自国民を晒す事になります。だからレーガン大統領は言ったのです。「政権の仕事は、国民の世話をすることではなく、国民を守ることだ。自分の世話は自分でできる。自分で仕事を見つけて、自分で学べる。しかし、国民を守るのは政府の仕事だ。」明らかに私たちが見ているものは、もし私が今のアメリカ人だったら、銃を買って、しっかりと武装しますよ。なぜなら、何が起きているのかという、市長や知事が、見てください。ニューヨーク市長の娘が逮捕されて、彼は、娘のしたことを非難する代わりに、実際に彼女を賞賛しています。彼は言いました。「お前を誇りに思う。よくやった！」この市長の町は、昨夜、マンハッタン最大のショッピングエリアで暴動と略奪があり、これが、その市長です。これらが知事で、これらが警察を弱体化させ、暴徒を支援している指導者たちです。そして、彼らは、このようなことが彼らの監視下で起きているのを見て、喜んでいきます。なぜなら、それがトランプを倒すためのアジェンダに役立つと、彼らは信じているからです。ところで、もし私がアメリカ人で、今後、どうなるのかと考えているなら、私は11月、この全てに終止符を打つ、最強の大統領に投票すると思います。

さて、皆さん、不法というのは、聖書の中でずっと語られてきたことです。旧約聖書の中にも、不法がありますし、新約聖書の中にも、不法があります。そして、理解してください。こういった人たちは…、彼らは、自分の店の前に立っている老婦人を、ボコボコにしているのです。彼らは、善良で崇高な大義のために戦っ

ているのではありません。彼らは、全てをあなたとは真逆に見ているのです。だからこそ、イザヤ書5章の節は、

「わざわざ。悪を善、善を悪と言う者たち。彼らは闇を光、光を闇とし、苦みを甘み、甘みを苦みとする。わざわざ。自分を知恵のある者と見なし、自分を悟りのある者と思ひ込む者たち。わざわざ。酒を飲むことにかけては勇士、強い酒を混ぜ合わせる事にかけては豪の者。彼らは賄賂のために、悪者を正しいと宣言し、その悪者から正しい者たちの正しさを遠ざける。」（イザヤ書5:20～23）

それは預言者イザヤが、2600～2700年前に書いた、嘆かわしい事です。また、イエスが言われました。イエスは、「わたしは、これらの人間に宣言する」と言われました。

『わたしはおまえたちを全く知らない。不法を行う者たち、わたしから離れて行け。』（マタイ7:23）

不法を行う者たちは、イエスの御名を口にする事さえ絶えられません。主は、彼らを全く知らない。もし、あなたがたが老婦人の前に立って、彼女が自分の店を守ったからと言って、彼女を殴っているなら、イエスが言えるわけがありません。「わたしはあなたを知っている」とか「あなたは救われている。」とか「あなたは素晴らしい。」とか。聞きなさい。悔い改めなければなりません。あなたには救いが必要です。明らかに、あなたはまだ救われていませんから。また、イエスが、最後の時に関して言われたことを、お見せします。マタイによる福音書24章イエスが、弟子たちに終わりの時のことを尋ねられ、

「そこでイエスは彼らに答えられた。『人に惑わされないように気をつけなさい。』（マタイ24:4）

イエスは、最後には多くの欺瞞<sup>ぎまん</sup>が行われることをすでに理解されておりました。そして、主は言われました。「わたしの名を名乗る者が大勢現れ、『私こそキリストだ』と言って、」（5節）欺瞞は、出来事だけではなく、誰がメシアなのかに関してもです。それから…

「多くの人を惑わします。また、戦争や戦争のうわさを聞くこととなりますが、気をつけて、うろたえないようにしなさい。（6節）

イエスは言われます。「見なさい、これらのことは人間性の一部です。彼らは、この惑星の墮落の一部です。それに悩まされるな。」良いですか？それは終わりではありません。

「そういうことは必ず起こりますが、まだ終わりではありません」（6節）と、イエスが仰<sup>おっしゃ</sup>いました。さて、これを見てください。

「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、あちこちで飢饉と地震が起こります。」（7節）「しかし、これらのことはすべて（何ですか？）産みの苦しみの始まりなのです」（8節）

または、陣痛の”始まり”です。そして言われます。

「そのとき、人々はあなたがたを苦しみにあわせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。」（9節）

これらは、すでに、イスラエルの人々に告げられた事です。それから、イエスが言っておられることをご覧ください。…

「あなたがたは、すべての国の人々に憎まれます。」一つの国が、すべての国から嫌われるのです。

「そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。」(10節)「また、偽預言者が大勢現れて、多くの人を惑わします。」(11節)「不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷えます。」(12節)「しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます」(13節)イスラエル、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。「御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます。」(14節)

すごいです。また、別の箇所でも、テサロニケ第二の2章、パウロの言うことを見てください。

「私がまだあなたがたのところをいたとき、これらのことをよく話していたのを覚えていませんか。(5節)「あなたがたが知っているとおりに、彼がその定められた時に現れるようにと、」(6節)信者、教会の内にある聖霊、「いま引き止めているものがあるのです。不法の秘密はすでに働いています。」(6,7節)

ほら、教会は、不法を経験します。それは、すでに働いていますから。それは、パウロがテサロニケの信徒たちに話し、書簡を書いていた時にも働いていました。ご覧ください。不法、それはいつ始まったと思えますか？エデンの園です。これに触れてはいけないという、神の法があった時、彼らはこれに触れました。それは不法です。そして、それを法と言いましたが、それを「やれ」と言ったのは誰ですか？それは悪魔の法でした。それは悪魔の命令でした。それは悪魔的な欺瞞であり、悪魔的な示唆であり、彼らはそれに従いました。ですから、神をサタンに置き換えるとき、法は不法になり、そして不法であるものが、自分の法となるのです。そして、パウロは言います。「その時になると、不法の者が現れます…」(8節)ほら、反キリストは、何と表現されていますか？“不法の者”です。さて、不法の者とは何でしょう？私たちが話しているのは…彼は神の法に反し、彼は義のためではなく、罪の償いのためではありません。彼は神のご計画、神の御心、そして人々の救いのためではありません。いいえ！彼には法が「ない」のです。神の律法、神のすがた、神のみこころ、神のお考えは、彼の中にありません。彼は不法の者です。

「その時になると、不法の者が現れますが…」(8節a)

だからこそ、私は思うのです…ところで、この悪党どもを見ていると、世界が、盲目的に反キリストに従うのが目に見えて分かります。彼は不法の者の首長です。彼は不法の者で…それから、これを見てください。そして、聖書にはこうあります。

「主イエスは彼を御口の息をもって殺し、来臨の輝きをもって滅ぼされます。(8節b)「不法の者は、サタンの働きによって到来し、…」(9節a)

背後にいるのはサタンだけで、それは悪魔的なものです。それは悪魔的な欺瞞であり、悪魔的な盲目です。私たちが今見ているのは、アメリカの街頭でのアンティファと、そして、彼らに資金を提供している者たちの秘密結社のすべてで、それは悪魔的なものです。それはサタンの働きによるのです。しかし、加えて反キリストが持っているものは、「あらゆる力、偽りのしるしと不思議、」(9節b)今は、彼らが持っているのは、レンガの山と“たいまつ”だけです。…しかし、反キリストは、それ以上に人々を驚かせるでしょう。

「また、あらゆる悪の欺きをもって、滅びる者たちに臨みます。彼らが滅びるのは、自分を救う真理を愛をもって受け入れなかったからです。」(10節)

彼らはイエスを拒絶します。こういう人たちは、本当に思想に乏しくて、こういう人たちは愛ではなくて、憎しみがあります。彼らは、誰かの権利のために戦うことはありません。彼らは、誰かの大義のために戦いません。彼らは、ただの悪魔の策略の手先に過ぎません。無秩序、基本的には悲劇を引き起こす為です。しかし、「それで神は、惑わす力を送られ、彼らは偽りを信じるようになります。」(11節)「それは、真理を信じないで、不義を喜んでいたすべての者が、さばかれるようになるためです。」(12節)彼らは、不法と不義を喜びます。皆さんにお伝えしたいのは、一番の方法は、彼らに福音を与え、アメリカ、国の保守的な政権の為に祈り、投票する事です。一つ言えるのは、民主党は、また、統治するのが待ち遠しいのです。



なぜなら…、つまり、イランは喜ぶでしょう。もう制裁がなくなるから。ベネズエラは喜ぶでしょう。ロシアの制裁も解除されるでしょう。北朝鮮は、もう圧力で止められる事はなくなり、中国は…全ては元に戻るでしょう…つまり、こういった国々はドナルド・トランプが倒れるのを、今か今かと待っているのです。彼らが待っているのは、トランプが崩壊し、倒れそして民主党が乗っ取る事です。そして今、公民権戦争として認識されているものは、市民や権利とは何の関係ありません。それは悪魔的で、恐ろしい計画が全てです。私たちは、それを見ているのです。また、反ユダヤ的な色も見えています。また、非常に反ユダヤ的な顔、醜い顔を見せています。皆さん、私たちは終わりの日を生きているのです。

今は最後の時です。どうか、神のみことば、神の約束に強くとどまるように、皆さんを励ましたいと思います。神の約束が私たちに与えられたのは、私たちがそれらを忘れて、手放すためではありません。それは、私たちが思い出すためです。ほら、イエスは、仰いました。

**「あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。」(ヨハネ16:33)**

主は、そこで終わる事もできました。「あなたがたには多くの苦難がある。以上。」でも、イエスは言われます。「いや、いや、いや、勇敢でありなさい。」彼は言われました。「わたしはすでに世に勝ったのです」(ヨハネ16:33) 今日、あなたが、もしも信者でないなら、ところで、イスラム国からの視聴者が、何万人もいることが分かりました。また、アフリカのイスラム教国からの視聴者もたくさんいます。皆さんに言います。宗教は答えではありません。イスラム教もユダヤ教もカトリックも、それは答えではありません。あなたには、神との個人的な関係が必要です。唯一の方法は、あなたのために死んでくださったイエスが、あなたを死ぬまで愛し、あなたのために、ご自身を捧げてくださったのです。だから、自分の罪を支払う必要はありません。

**「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ3:16)**

あなたは、永遠のいのちを手に入れるのです。あなたは死ぬ必要はありませんし、あなたは地獄に行く必要もありません。あなたは、まだ生きている間に、死ぬ必要がありません。そして後になってから…。あなたは、第二の死を経験しなくても良いのです。あなたは、大いなる白い裁きの御座の前に立つ必要はありません。あなたは、大患難を通過する必要はありません。道があり、それがこの全てから脱出する、唯一の道です。そして、十字架の上のイエスの完成された御業を信じること、また、イエスが約束されたメシアであることを信じ、あなたが救い主が必要であることを認めた後に、イエスをあなたの心に招き入れるのです。そうすれば、死刑囚の収容所から、さばかれることのない者の陣営に移動します。聖書は言います。

**「御子を信じる者はさばかれない、信じない者はすでにさばかれています」(ヨハネ3:18)**

私たちは皆、裁かれています。それが信じた瞬間、ヒュッ！その死刑囚収容所から引き抜かれ、私たちはさばかれません。あなたは、今見ているものよりも、ずっと悪いものを見ることになります。世界はどんどん悪くなります。イエスが私たちに仰いました。でも、私たちはしっかりと、準備をしないとイケません。そして、キリストが来て、主の教会を連れ出されるのに備える唯一の方法は、キリストに信頼を置くだけです。

お父様、今、これを見ている人たち、世界のこの地域では今夜、または世界の別の場所では朝、準備ができておらず、救われているかどうか分からない人たちのために祈ります。お父様、今日が救いの日であることを祈ります。自分が救い主を必要としていることを、理解しますように。私たちはみな罪びとであり、罪の報酬は死です。しかし私たちは、2,000年前の、汚れのない完全な子羊の驚くべき血によって贖われました。それから50日後に聖霊が来られて、今もここにおられます。だから、神の律法は紙の上ではなく、心の板の上に書かれるのです。お父様、ありがとうございます、今、聞き、受け入れている人を、あなたは、息

子や娘として彼を受け入れてくださいます。彼らは、今からあなたを「アッバ、父よ」と呼ぶことができます。イエスの御名によってお祈りします。アーメン。

ほら、なぜか、あの祈りをリードしたいという衝動に駆られました。私たちがこれから見ることは、それ以上に酷くなります。なぜなら敵は必死で、一つのことが失敗したら別のことをしようとしていて、それが失敗したら別のことをしようとしているからです。勇敢でいましょう。イエスはこの世に打ち勝ったからです。神は常に勝利の側にあります。神は、決して戦いに負けることはありません。なぜなら、戦いは主のものだからです。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。  
(民数記6:24~26 ヘブライ語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。  
(民数記6:24~26 英語)

そして、これらの暴動と混乱の中で、あなたに平和を与えてくださいます。すべての理解を超えるイエスの平和。あなたがイスラム教徒であろうと、ユダヤ人であろうと、カトリックであろうと、正統派であろうと、またはヒンズー教徒であろうと、シーク教徒や仏教徒であろうと、救い主が必要です。そして、その御名はイエシュア、「私たちの救い」です。そして、あなたがそれを理解して、主を受け入れることができるように祈っています。今夜、今日、明日では遅いかもしれないので。  
アーメン。

さて、ソーシャルメディアでフォローくださることをお忘れなく。ほら、FacebookもYouTubeもTwitterも、いつまで続くか分からないのです。私が言っていることや、私が投稿しているものが本当に気に入らないらしいのです。毎週自分で書いているメルマガがあります。BeholdIsrael.orgのウェブサイトでご登録いただけます。YouTube、Facebook、Instagramでフォローしてください。BeholdIsraelです。まだお読みになっていないなら、「The Day Approaching」と「The Last Hour」をお手に取ってみてください。是非どうぞ。

あなたを大いに祝福します。  
ありがとうございます。

God bless you!

イスラエル、ガリラヤからシャローム!



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.06.12 (Fri)